



# 神埼市 議会だより



長崎街道かざき宿場まつり

## 5月定例会

9月定例会は9月2日開催予定です。

9月定例会からぶんぶんテレビにおける一般質問の放送が  
11チャンネルから12チャンネルに変更されます。

### 目次

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 議長・副議長就任あいさつ    | P2      |
| 委員会紹介           | P3~4    |
| 臨時会・定例会審議       | P5~10   |
| 賛否があつた議案・意見書の紹介 | P11     |
| 特別委員会活動報告       | P12     |
| 一般質問(15人が登壇)    | P13~P20 |
| 議員表彰            | P21     |
| 議会報告会のご案内・編集後記  | P22     |

第39号

平成28年8月10日  
2016年

## 議長就任のあいさつ

神崎市議会議長 廣 瀧 恒 明

市民の皆様には、平素から市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、去る4月26日の臨時議会におきまして、新たな体制が整い、私は議長として選任して頂きました。身に余る光栄に感謝いたしますと共に、その責務の重大さを痛感し身の引き締まる思いでございます。市は平成18年3月20日に合併し10年を迎えました。「自然と歴史と人が輝く未来都市」をビジョンとして邁進してきました。しかし、市を取りまく環境は大きな転換期を迎えています。本市がめざす都市像の実現に向け、議会と執行機関との真摯な議論により、有効な政策を推進していきたいと思っております。議会運営に当たっては、開かれた議会を目指すため、全議員の意見を尊重し、執行部と議論を重ね、努力していきたいと思っております。議会と行政は車の両輪ですが、ブレーキも調整し、バランスを保ちつつ、市民の皆様が目線で行政と対等に渡り合う議会へと、職務に全力を傾注する決意であります。市民の皆様におかれましては、引き続き議会に対しまして、一層のご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。



## 副議長就任のあいさつ

神崎市議会副議長 田 原 和 幸

今4月の臨時議会において、議員各位のご支援を受け、副議長に選任され就任いたしました。

合併10周年、次の10年に向いベクトルを決める重要な時期に拝命し胸熱くしています。これからの「まちづくり」「活性化（地方創生）」なるものは、行政が担うべき課題であると同時に、議会に付与された議題、命題でありますので、執行部と真摯に向き合い市民の皆様「まちづくり」に対する考え方を示し、協議を重ねることが大事な役割と考えます。

さし当り、目前に迫る合併特例債の発行期限5年延長に伴うプロジェクトは本庁舎建設、脊振町複合施設、葬祭公園等があり、議論が沸騰すると思っております。また、地元自治体と国との間で再始動、検討された城原川ダムの早期着工など、国と県と市と川の流れのようにスムーズな連携が必要な事業も予想されます。

こういう観点から議長を補佐し、よりよい議会運営に邁進する所存です。

奇をてらうことなく温故知新の精神をモットーに「たたかれても、干されても、削られても味を出す」鰯（カツオ）の如く努めます。





**総務常任委員会**

総務企画部、市民福祉部（税務課）、会計課、監査委員、選挙管理委員会に関する事項の調査及び審査



委員長  
原口ひさよ



副委員長  
野副 芳昭



中野 均



山田 一明



松本 軍二



福田 清道

**文教厚生常任委員会**

市民福祉部（税務課を除く）、教育委員会に関する事項の調査及び審査



委員長  
箕原 忍



副委員長  
木原 憲治



宮地 明



野口 英樹



白石 昌利



田原 和幸



佐藤 知美

**産業建設常任委員会**

産業建設部及び農業委員会に関する事項の調査及び審査



委員長  
藤瀬 光正



副委員長  
山口 義文



西原 正剛



廣瀧 恒明



永沼 彰



片江 護



原 信義

**議会運営委員会**

議会を円滑・効率的に運営するための議長の諮問的な性格を帯びた機関



委員長  
白石 昌利



副委員長  
中野 均



山田 一明



山口 義文



永沼 彰



福田 清道

### 議会広報編集特別委員会

神崎市議会だよりの発行及び編集技術向上に関する調査研究



委員長  
野副 芳昭



副委員長  
原 信義



白石 昌利



原口ひさよ



田原 和幸



永沼 彰

### 予算特別委員会

平成 28 年度神崎市一般会計予算及び特別会計予算において議会の議決によって付議された事件を審査



委員長  
山口 義文



西原 正剛



箕原 忍



藤瀬 光正



野副 芳昭



副委員長  
原口ひさよ



山田 一明



松本 軍二



福田 清道



片江 護

### 議会改革検討特別委員会

市民の付託に応えられる議会活動、議員活動の実現を目指し、議会改革に関する事項の調査・検討

#### 《第一分科会》



委員長  
山口 義文



副委員長  
松本 軍二

| 役職  | 番号 | 氏名    |
|-----|----|-------|
| 会 長 | 4  | 中野 均  |
| 副会長 | 10 | 田原 和幸 |
| 会 員 | 5  | 藤瀬 光正 |
| 会 員 | 6  | 野口 英樹 |
| 会 員 | 8  | 白石 昌利 |
| 会 員 | 11 | 山田 一明 |
| 会 員 | 13 | 山口 義文 |
| 会 員 | 14 | 木原 憲治 |
| 会 員 | 15 | 松本 軍二 |
| 会 員 | 17 | 福田 清道 |

#### 《第二分科会》

| 役職  | 番号 | 氏名    |
|-----|----|-------|
| 会 長 | 16 | 永沼 彰  |
| 副会長 | 7  | 野副 芳昭 |
| 会 員 | 1  | 西原 正剛 |
| 会 員 | 2  | 宮地 明  |
| 会 員 | 3  | 箕原 忍  |
| 会 員 | 9  | 原口ひさよ |
| 会 員 | 12 | 廣瀧 恒明 |
| 会 員 | 18 | 佐藤 知美 |
| 会 員 | 19 | 片江 護  |
| 会 員 | 20 | 原 信義  |

## 平成 28 年 4 月臨時会

### 専決処分の承認を求めることについて

#### 議案第44号(全員賛成) 神崎市税条例等の一部改正について

**Q** 固定資産税等が、どのような増収になるのか。また市内に対象物件があるのか。

**A** わがまち特例の分の条例で、平成 27 年度と平成 28 年度の税収は変わらない。該当する物件は、太陽光発電設備について、法人が 20、個人が 28 箇所あり、津波防災対策の港湾施設等で、黒津漁港が該当する。

#### 議案第45号(賛成多数) 神崎市国民健康保険税の一部改正について

**Q** 国保税と後期高齢者支援金の最高限度額の引き上げにより、課税される最低の所得は、いくらになるのか。

**A** シミュレーションを持ち合わせていない。最高限度額となる最低の所得は、国保税限度額から均等割と平等割を差し引いた金額に 330 千円を差し引き、所得割の率を割り戻して計算する。

## 平成 28 年 5 月臨時会

### 平成28年度一般会計(補正第 1 号)

5,658万9千円を追加

#### ■主な補正

| 主 な 事 業 ・ 内 容             | 補正額(千円) |
|---------------------------|---------|
| 神崎市新庁舎建設事業 (財産取得のための調査委託) | 54,589  |
| 平成 28 年熊本地震義援金            | 2,000   |

補 正 予 算

# 5 月定例会

**防災機能強化事業  
(小学校体育館屋根・外壁改修工事) 6,479 万円**

**平成28年度一般会計(補正第2号)  
1億7,177万7千円を追加**

平成 28 年 5 月定例会は、5 月 27 日～6 月 22 日までの 27 日間開催され、一般質問には 15 名の議員が登壇しました。

平成 28 年度一般会計補正予算では 1 億 7,711 万 7 千円が追加され、総額 143 億 3,136 万 6 千円となります。

## ■ 主な補正

| 主 な 事 業          | 補正額(千円) | 事 業 の 内 容   |
|------------------|---------|---|
| さが未来スイッチ交付金事業    | 8,337   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活力発見地域創出事業 333 万 7 千円</li> <li>・ 未来へ繋ぐ歴史・文化事業 200 万円</li> <li>・ 地球づくり活性化事業 300 万円</li> </ul>                             |
| 次期ごみ処理施設建設事務委託料  | 9,631   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 28 年度における次期ごみ処理施設建設の基本計画策定等事務に関する委託料</li> </ul>   |
| 農地利用最適化交付金事業     | 2,376   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新制度に移行した農業委員会の積極的な活動をさらに推進するため、平成 28 年 4 月からの農業委員及び農地利用最適化推進委員が行う農地利用の最適化に係る活動等の実績に応じた活動手当として、これまでの報酬に加えて交付する</li> </ul> |
| 児童生徒の活用力向上研究指定事業 | 735     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 28 年度佐賀県教育委員会の研究校指定を受けた市内 4 校において、県委託金を受け事業を実施</li> </ul>   |

# これが聞きたい！



## さが未来スイッチ交付金事業 8,337 千円

### (事業の目的)

平成 28 年度佐賀県において創設された「さが未来スイッチ交付金」を活用し、人口減少やこれに伴う地域の活力低下が顕著な地域を対象に補助事業等を実施し、集落等の維持や活性化、或いは地域コミュニティの充実強化を図る。

Q

活力発見地域創出事業や未来へ繋ぐ歴史・文化事業は千代田東部地区、脊振地区、仁比山地区が対象地区になっているが、どのような基準で選定されたのか。

A

この事業については、県の地方創生事業ということで創設されている。要件としては、地域において人口減少が顕著なところを対象とし、神崎市全体の人口減少率を上回っている地区を対象とするという事で、自治会単位、大きくとって小学校区単位という位置づけで決められている。

## 葬祭公園整備促進協議会負担金について 15,419 千円

### (事業の目的)

神崎市・吉野ヶ里町葬祭公園整備促進協議会の構成市町が連携して、葬祭公園設備に必要な関係法令諸手続や事前調査を行うことにより、佐賀県を含む関係機関との協議を加速させ、一部事務組合の設立準備を進めて葬祭公園設備の早期実現を図る。

Q

葬祭公園整備事業の進捗はどのようになっているのか。

A

取付道路に関しては、志波屋地区で、地区総会での了解を受けて進めている。そのような作業の中で、吉野ヶ里町と協議を行って、準備予算として計上している。地権者の相続が終わっていない方については、手続きを司法書士に依頼するなどの対応を地元役員と一緒に進めている。



葬祭公園建設予定地



**Q** 環境影響調査のために大きな予算が計上されているが、具体的にどのような調査を行うのか。

**A** 建設負担金ということで、まず、環境影響調査について、基本的には火葬場に環境影響調査の義務はない。ただ、これまでの地元との協議の中で、色んな懸念の声が出ていたため、前もって調査をすると地元と話をしている。義務付けのものは年間4基で行うが、簡易的なものということで、公害対策に関する廃棄、振動、臭い等の調査をデータで把握するという準備を行っている。12月に事務組合設立の予定があるので、それ以降の予算措置では時間的に難しく、協議段階の準備作業ということで予算に計上させてもらっている。

## 次期ごみ処理施設建設事務委託料 9,631 千円

### (事業の目的)

佐賀県環境影響評価条例に基づき、次期ごみ処理施設に係るコンセプトや、施設規模、処理方式、環境保全目標など、より環境に配慮した施設建設を目指すものである。

**Q** 脊振共同塵芥処理組合のごみ処理施設には溶融炉が整備されているが、整備前にためられていた焼却灰を燃やし尽くすまでにどれくらいの期間がかかるのか。また、広域化に伴う新しい処理施設と並行して使用するのか。

**A** 10年ぐらいを目途としている。東部の三養基の施設も並行して存在するような状態であり、どちらが先に終わるのか分からないが、完全に解体するまでは使用の可能性はある。



脊振共同塵芥処理組合

**Q** 広域化に伴う脊振共同塵芥処理組合職員の身分保障はどのようになっているのか。

**A** 現在、勤めている職員については、神崎市としてきちんと対応できるように協議していく。



## 農地利用最適化交付金事業 2,376 千円

### (事業の目的)

農地利用の最適化の推進に関する事務が、必須事項に位置付けられ、積極的な活動を推進する。

**Q** 農業委員会の必須事務の中に新規参入の促進があるが、市内においてどのような状況なのか。

**A** 今、健康食品関連の会社から相談があっている。このような案件は、今後も出てくるものと思っている。



市内の農地

## 防災機能強化事業 64,790 千円

### (事業の目的)

老朽化により劣化した小学校体育館の屋根の防水工事、外壁の落下防止工事を行い、学校体育館の長寿命化、及び児童の安全を確保するとともに、災害時等の避難所としての安全確保を図るもの。

**Q** 小学校の体育館は災害時の避難所になっており、夏場に避難した際、窓を開けるためにも網戸の設置が必要だと思うが、市としてどのように考えているのか。

**A** 今回の工事で網戸設置の予定はしていない。避難所として使用することになっているので、検討させていただきたい。



工事対象の一つである千代田西部小学校体育館

## 各常任委員会のQ & A

### 総務常任委員会

#### 《議案第49号》(全員賛成) 神崎市総合計画審議会設置条例等の一部改正について

##### 総務企画部

Q

企画室から企画課に変更しているが、室と課の違いは何か。

A

大型事業(庁舎建設等)があるので名称変更を行った。



企画課の窓口

### 文教厚生常任委員会

#### 《議案第50号》(全員賛成) 神崎市と鳥栖・三養基西部環境施設組合との次期ごみ処理施設の建設に関する事務の委託について

##### 市民福祉部

Q

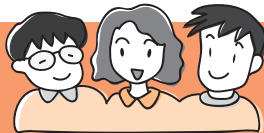
合併のメリットが想定されているが市民に負担がかかるようなものはあるのか。

A

ごみ処理施設広域化は、20数億円の経済的メリットがある。今の段階では極力、影響がないようにしたいと思っている。



市のごみ袋



## 賛否があった議案を紹介します。

### 議案第45号 神埼市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

| 議案番号   | 議決結果 | 永沼 彰 | 山口 義文 | 西原 正剛 | 宮地 明 | 箕原 忍 | 中野 均 | 藤瀬 光正 | 野口 英樹 | 野副 芳昭 | 白石 昌利 | 原口 ひさよ | 田原 和幸 | 山田 一明 | 廣瀧 恒明 | 木原 憲治 | 松本 軍二 | 福田 清道 | 佐藤 知美 | 片江 護 | 原 信義 |
|--------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 議案第45号 | 可決   |      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ×     | ×     | ○    | ×    |

#### 《議案に対する反対討論》

福田清道 議員

この国民健康保険税の過重な負担が本当に私たちの暮らしを脅かしている。540千円と190千円になる、とても私たちの支払い能力を超えるこういう過重な限度額引き上げは、許されるものではない。市民の暮らしを守るためには、一般会計からの繰り入れ等を取りあえずやりながら、国に対してこういう国保税の引き上げはやめるように、そしてまた議会も一緒になって国に強く求めていくことが必要であるということを述べて、この議案に反対する。

#### 《議案に対する賛成討論》

宮地 明 議員

具体的に記憶が定かではないが、結局、所得割というところで所得の多い人には国保税をかけ、所得の低い人には軽減策をやったということで、私としてはこの議案はまともなものだと思っている。



## 神埼市民の願いを意見書にして国に届ける

### 少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度の堅持及び義務教育費総額の拡充を求める意見書

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多い状態であり、全ての学年における1学級の学級編成の標準を改定し、計画的な定数改善が必要である。いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われているが、国の施策として定数改善にむけた財源保障をすべきであり、子どもの学ぶ意欲、主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠である。

記

1. 子どもたちの教育環境改善のために、少人数学級の推進を含む、計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持と義務教育費の総額を拡充すること。

## 議会改革検討特別委員会の活動報告

山口 義文 委員長

5月27日に開催された両分科会及び6月8日に開催された第2分科会について報告を行う。第1分科会で審議された「行政評価」については、同規模自治体の事例等を調査しながら継続協議とすることとされた。「議員倫理条例」については、議員の資質にかかわることであるが、我市議会にとり現時点での必要性が希薄であることから、制定に向けた作業を見送ることとされた。「議会報告会」については、昨年度の議会報告会で市民から出された意見・要望について今年度の報告会で報告するため、整理を行うこととされた。

第2分科会で審議された「決算審査の審議時期」については、過去の分科会審議や執行部の予算編成の状況等を確認し、現行の実施時期でよいとの結論を出した。2つ目の「政務活動費」については、使途のマニユアル化に向けて他市の事例とともに、過去の市の精算実績で再確認された事項を参考にするにとされ、視察研修や書籍購入にかかるルールを確認された。

6月10日の小委員会では分科会からの報告を受け、委員会での協議事項等について審議を行った。

6月16日の委員会では、「議員倫理条例」及び「決算審査の審議時期」については、いずれも分科会で行われた結論を尊重するとともに、委員会での継続協議となっていた「特別委員会出席費用弁償」については、一度廃止したものを再度復活させることや昨年報酬が上がった背景等を踏まえ導入を見送ることとした。

## 神崎市まちづくり特別委員会の活動報告

山田 一明 委員長

4月14日に委員会を開催し、新庁舎建設検討委員会及び脊振町複合施設建設検討委員会によって作成された基本構想案について協議を行い、まちづくり特別委員会として二つの基本構想案を尊重することとした。

5月2日の委員会では新庁舎建設及び複合施設建設の基本構想の市民アンケート及び住民説明会について協議を行った。市民への周知、配布、回収方法、質問項目等について協議し、住民説明会は小学校区単位での開催を提案された。

6月17日の委員会では、5月16日から18日にかけて、各町で行った基本構想にかかる住民説明会の報告を受

けた。説明会は小規模単位の説明会を行う等の工夫をしてほしいとの意見があり、アンケート内容はしっかりまとめ市民へ公表してほしいと要望した。





脊振町の魅力。若い世代が住み続けたい地域振興施策

答 必要な施設の整備を進めていきたい



白石 昌利 議員

議員 若い人たちが集い、そして触れ合う。そのような空間づくりを是非やって貰いたい。それが、脊振町の振興、活性化に繋がるので、若者向けのスポーツパークの整備を検討して頂きたい。今若い人たちは、コミュニティケーションを図る場所として公園の利活用が増えている。また、スケートボードやボルタリング等でも楽しまれている。このような施設を高取山公園(わんぱく王国)に設置できれば、若い人たちが集う場所になると思う。市は、この公園の整備・振興を如何に図っているのか伺う。

岸川産業建設部長

利用

者のニーズを把握することから進めていく必要がある。高取山公園が市民に愛され、誇りを感じられる施設へと成長できるように、適切な維持管理や必要な施設の整備を進めていきたい。

市が進める、神崎市新庁舎建設基本構想での合併特例債の活用は反対

議員 新庁舎建設は数年に一度の建設であり、

構想には十分な期間と議論が必要。「合併特例債の期限があるから急ぐ。」この考えは理解できない。少子高齢化・人口減少、又歳入の見込みなど疑問であるので考えを伺う。

高平総務企画部長

新庁

舎建設は喫緊の課題である。財源として、合併特例債を活用しないと財政的には過大な負担となり、新庁舎建設を断念せざるを得ない状況と考えている。



ボルタリング

通学路の雑草等、通学路整備は大丈夫か

答 道路パトロール等により維持管理に努める



野口 英樹 議員

議員 神崎市内、小・中学校の通学路での不審者対応は大丈夫か。

永原教育部長

市内全小

学校は全児童に、中学校は全女子生徒に防犯ブ

ザーを配布し、通学時には常に携帯するように各学校から児童・生徒に指導している。また、保護者への緊急時連絡として、携帯電話などへのメールによる連絡体制をとっている。さらに、不審者の発見や下校時の子供たちの安全な見守りとして、青色パトロールを

岸川産業建設部長

雑草

JR長崎本線を境に北部・南部を週1回、巡回している。また、子ども見守り隊やPTAの方々による交差点や危険箇所についての見守りを行って頂き、登下校時の児童・生徒の安全・安心に大きく貢献して頂いている。

校の通学路の雑草等、通学路整備は大丈夫か。

の伐採は、1回目を5月の連休明けから6月末までの間、2回目を8月の益明けから10月末までの間で行っている。近年、雑草の繁茂が著しく、年2回の伐採では対応できていないので、業者による伐採の追加や市職員による緊急対応を行っている。今後も、雑草の繁茂などによる危険な箇所の対応は、道路パトロールや市民からの情報提供により、適切な維持管理に努める。

その他の質問

・市・県・国道の道路整備について  
・市の施設の耐震化について



繁茂が著しい通学路

議員 神崎市内、小・中学

## 子供の貧困対策は

答 子どもの学習支援事業を実施



福田 清道 議員

**議員** 日本は先進国の中で、子どもの貧困化率の高い国となっている。神崎市においても年収122万円以下の、若い子育て層が年々増えてきている。親の貧困を子供世代に引き継がせないための手立てを市はとる必要がある。

**志岐福祉事務所長** 市は生活支援についてはもちろんのこと、本年6月より新たな取り組みとして「子どもの学習支援事業」を実施し、教育委員会と連携して貧困の連鎖を断ち切る事業を開始した。この事業は県内では現在、市を含め2自治体のみ実施している。

**議員** 農業の法人化が進んでいるが、主にその中心を担っているのは60代である。従って後継者の育成について喫緊の課題である。市は法人化を推進する立場として具体的な対策を検討しているのか。

**小坂農林水産担当参事官**

市においては22組織が法人化を達成し、法人数として13法人が誕生している。その構成員の平均年齢はおおむね65歳である。市としても今後JA、県農業普及センターなどと連携し、後継者育成を推進し取り組んでいく。



農作業風景

## 神崎高校移転予定地は今後環境変化の問題はないのか

答 基本設計の中で慎重に検討する



西原 正剛 議員

**議員** 神崎高校が移転するとの事だが、移転先と時期は。

**永原教育部長** 移転先は神崎清明高校敷地内の北側実習田約4万平方メートルで平成31年の完成予定。

**議員** 移転先の地区への事前協議・説明会は行ったのか。また、市の職員は同席したのか。

**教育部長** 横武・鶴田地区区長に昨年7月に一度説明があり、今年も同地区役員を含めて県の教育総務課より説明があったが、市職員はいずれも同席していない。

**議員** 両地区の区長より、地域環境に関する要望書が提出されたと聞いているが。

**教育部長** 今年2月の説明会后、市長宛てに要望書が提出されている。

**議員** 実習田を埋め立てた際の今後の雨水排水対応について、現在も大雨時は国道北側が冠水状態になるが、清明高校北門からの通学路は今後も地域住民の生活道路及び農業機具搬入路として使用できるのか。また、移転後生徒数も増加し交通量も

増加するため、生活環境が激変すると思うが県との対策は協議しているのか。

事業は県主体だと思いが、神崎市に関する問題は、しっかりと協議して意見を述べてほしい。

**教育部長** 周辺の影響については現時点で不明であり、大きな影響が生じないよう基本計画の中で県と十分検討していきたい。



神崎高校移転予定地



熊本地震から自治体が学ぶべき教訓はなにか

答 防災計画に市全体で本気で取り組むかが課題



原 信義 議員

す。

**議員** 高齢者、子供、病人の避難対策は万全か。

**志岐福祉事務所長** 高齢者や障がい者一人ひとりについて、災害時に誰が

支援して、どこ避難場所へ行くかを地域において策定していく必要がある。

災害時は本人の自助と地域の共助を基本とした計画を策定した。

**議員** 食糧確保と支援物資の効率的配布マニュアル

は、どこに住んでいても、いつ何ぞぎ大地震に襲われるかわからないので、防災体制を真剣に点検し見直すことです。第一の質問は、公共施設、民間住宅の安全対策は進んでいるかです。

ルは持つているか。

**総務企画部長** 受援計画を速やかに策定していくことにしています。

**議員** 市職員の適正人員確保は重要。

**総務企画部長** 健全な財政運営と必要な職員数確保で、どこに適正と妥当性を見出すかは難しい。

防災訓練、研修を通して職員のスキルアップをめ

ざす。

障がい者にやさしい街づくりを

答 障がい者差別支援法に沿った施策を進めていく



佐藤 知美 議員

**議員** 今年4月より障がい者差別支援法が施行される、神崎市でもその推進が望まれているが、障がい者に対する支援と対応

は。

**志岐福祉事務所長** 人的支援について訪問系サービスでは、自宅で入浴、排せつ、食事等の身体介護など8事業、日中活動系サービスは、通所により福祉施設において日常生活上の支援や生産活動機会の提供、また就労に向けた訓練など15事業など。

物的支援については、障がいのある方が安定した日常生活を送るために

必要な補助用具等に対し、公費負担を行っており、日常生活用具給付、自動車改造・運転免許取得費給付事業等6事業。

経済的支援については手当等の支給、医療費の助成、在宅の重度障がい者を対象とした福祉タクシー事業を行っている。

**議員** 障がい者に対し福祉事業を中心に施策の展開、建設課では歩道や交差点における点字ブロックの設置、教育委員会では学校や図書館への点字図書蔵書、総務課では公共施設のバリアフリー化など努力をされているが、差別支援法施行を期に差別禁止条例の制定をしてはどうか。

**市長** 条例については、県、他市町

の状況を十分踏まえながら担当の方で研究もやってくれと思う。

私も善処できればやっていきたい。障がい者施策については差別支援法に沿って施策を進める。



神崎市ハザードマップ



市内に設置された点字ブロック

熊本地震を教訓に住宅等の耐震診断・改修の補助制度を

答 耐震診断・改修の補助制度の創設を検討する



野副 芳昭 議員

議員 熊本を中心とした地震は、震度7の揺れを2回続け観測史上初の地震であった。多くの被害者を出し、公的施設の避難者はテント暮らしや車

中泊を余儀なくされ、エコノミークラス症候群等の関連により、入院や亡くなられた方もあった。また、建物損壊は11万棟以上に及び、全半壊は約1万棟であった。神崎市の公的施設の避難所の建物本体や天井、窓、照明器具、壁材などの非構造部材の耐震化は十分に行われているのか。

しているが、4施設は財政負担の軽減や平準化を図り管理計画に基づき対応方針の策定を行い運営に取り組んでいく。  
永原教育部長 体育館では、非構造部材などの落下防止策は、安全を確保し調査検討し対応している。  
岸川産業建設部長 一般住宅や共同住宅などの耐震診断や改修の補助制度は設けていないが、国の補助金を活用し、県と連携し協議する。補助制度創設も検討する。耐震改修促進税制として、最大25万円の所得税控除及び固定資産税が1年間2分の1軽減される。

高平総務企画部長 28施設中24カ所は基準を満たしているが、4施設は財政負担の軽減や平準化を図り管理計画に基づき対応方針の策定を行い運営に取り組んでいく。  
永原教育部長 体育館では、非構造部材などの落下防止策は、安全を確保し調査検討し対応している。  
岸川産業建設部長 一般住宅や共同住宅などの耐震診断や改修の補助制度は設けていないが、国の補助金を活用し、県と連携し協議する。補助制度創設も検討する。耐震改修促進税制として、最大25万円の所得税控除及び固定資産税が1年間2分の1軽減される。



熊本地震による民家の倒壊  
神崎市も備えが必要である

その他の質問

・ICTの復興により活字文化の衰えはないのか。

ファミリーサポートセンターで病児保育の対応を

答 随時、工夫しながら相談に応じていく



原口ひさよ 議員

病児・病後児保育について

議員 女性の社会進出が進む中、病児・病後児保育のニーズが高まっている。現在の市の病児・病後児保育の概要について尋ねる。

志岐福祉事務所長 神崎市、佐賀市、小城市、多久市、吉野ヶ里町の5市町の共同により実施。生後2ヶ月から小学校3年生までの児童が対象であり、利用人数は、平成26年度は述べ24人、平成27年度は述べ36人である。平日午前8時～午後18時、土曜日は午前8時～

午後1時まで利用でき、料金は1日一人当たり、診察料と1,500円、半日は診察料と750円となっている。  
議員 保護者が頼りにしている、「病児保育」を利用できなかった場合に、ファミリーサポートセンターで、二次的な対応や

相談はできないものか。  
福祉事務所長 ファミリーサポートセンターでは、子育て支援センターとファミリーサポートセンターを併設し、保育士が相談等に対応している。今後随時、いろいろ工夫しながら相談に応じていきたい。



千代田町保健センターの親子ふれあい室



新庁舎建設の進捗状況並びに今後のスケジュールは

答 今年度、基本計画策定並びに基本設計を行なう



議員 箕原 忍

**議員** 合併特例債は、合併した自治体へのアメの部分で、大変有利な制度である。県内の合併した自治体で新庁舎建設事業で合併特例債を使わなかった自治体はあるのか。

**高平総務企画部長**

平成21年12月の白石町庁舎の建設をはじめ、小城市、佐賀市、武雄市、唐津市の4市において合併特例債を活用しなかった自治体はないと認識している。

**議員** 合併特例債を活用した場合、市の負担額は約13億

円で一般事業債を活用した場合の負担額は約39億円となり、実質的な負担額の差は約26億円となり、合併特例債を活用すべきと思うが市の考えを問う。

**総務企画部長** 非常に有利な起債で、財政面への影響を最小限にとどめる為に、ぜひ合併特例債を活用したいと考えている。

**議員** 脊振、神埼、千代田での住民説明会で反対

の意見はなかった。神埼市民の皆様は常識のある判断をされたと思う。新庁舎建設に向けた市長の考えを問う。

**市長** 十分な説明、また理解を得ながら進めていく。ただ今日の地震を考えると、ただ今日地震を考えると、市民の方々に一日も早く取り組めるよう訴えていきたい。その間災害のないことを願うだけである。



基本構想における新庁舎の位置

年間を通じて仁比山地区に観光客を誘致する対策を

答 地元とともに継続的な取り組みを進めたい



議員 藤瀬 光正

**議員** 春や秋の九年庵公開に加え、地域の家々に紅葉やツツジの苗を配布し、庭先に植栽してもらうことで仁比山地区を「紅葉谷化・ツツジ谷化」し、年間を通じた誘客対策を。

**高平総務企画部長** 当地

区は市内で最も来訪者があるが、現状は九年庵公開時に集中しており、今後当該地区の資源を生かす、安定した観光客誘致の総合的な取り組みが必要と考える。

**岸川産業建設部長** 植栽

は地域の魅力が高められ、来訪者の満足度アップも期待できるが、植栽後の管理や地元の理解と



仁比山地区の水車の里

いった課題を見極め、慎重に検討する必要がある。

**議員** 車を使ったクリー

ンエネルギーの仕掛けや米つぎの実演、川淵の遊歩道の整備、遊学館を生かした店舗の誘致、朝市の開催など地域の皆さんもやる気のある方がいらつしやるからぜひ連携して一体的な整備をお願いしたい。

次に大御田祭について

て。悠久の歴史を持つこの祭りをぜひ神埼市の文化財として指定して補助していただきたい。

**市長** 無形文化財等の指定を受けて、保存会といった組織があれば、ある程度の支援はさせていただきます。

**その他の質問**

・神埼市の将来像について  
・市営住宅について

現千代田町庁舎利用について

答 現庁舎跡地検討委員会で検討します



片江 護 議員

議員 脊振においては、複合施設を中心とした町づくり、神埼において

は、新庁舎建設による新しい町づくりが進んでいますが、千代田においては、何も示されていない。庁舎の空スペース、はんぎーホールを中心とした空間を利用した、千代田町の町づくりの拠点を示すべきではないか。

市長 千代田の人たちが一番使い勝手のいい、今一番自分たちが望んでいる事など、千代田のほうから意見を出してください。そういう意見を出してもらって、それを集約していきたいと思ってい

る。議員 誉れ高い現庁舎、九州で一位二位を争うはんぎーホール、そして周辺の空間を利用した町づくりをやってほしい。

市長 検討委員会の中で議論された事などを中心に、千代田の方たちが夢をいっぱい濃縮できるように、市民協働の精神でやっていたいただきたい。



はんぎーホール



千代田支所

J Aさが神埼地区中央支所の活用は

答 活用は、今後の検討課題である



中野 均 議員

議員 J Aさが神埼地区中央支所は、改正された建築基準法で建築されていると思うが、耐震基準と鉄筋コンクリート造の耐用年数はどうなっているのか。

高平総務企画部長 取得を目指しているJ Aさが神埼地区中央支所及び神埼建設業会館の建物は、新耐震基準で建築されている。「解体するのか」「改修を加えて公共施設として活用するのか。」今後の検討課題である。

議員 建築学会では鉄筋コンクリートの寿命は、一般的には65年以上と言われているが、日本では設備や機能・経済的な理

由で解体されていることが多い。市は公共施設の長寿命化についてどう検討されているのか。

総務企画部長 市では、保有する公共施設を効果的、効率的に活用する視点から「神崎市公共施設等総合管理計画」を策定し、総合的かつ計画的な管理運営により、長寿命化に努め最大限に有効活用する。

議員 J A会館・建設業会館の取得または移転補

償の方針は、いつ結論が出るのか。

中島企画課長 建物の移転補償、取得補償については、民間コンサル業者に委託して補償調査を行っており、補償費の算定を取り組んでいるので、9月か10月ぐらいには、きちんとしたものが出る。

その他の質問 ・住宅政策と人口減少について



用地取得を目指している J Aさが神埼地区中央支所



城原地区の独自の鳥獣害対策をどう捉えているのか

答 地域ぐるみでの対策が重要



山口 義文 議員

**議員** 増え続ける猪の対策として、メッシュユ柵や電柵、捕獲等対策が行われている中で、城原地区において地区全体で鳥獣害対策に取り組む決起大会も開催されるなど、熱心な取り組みが始まったが、市はどのように捉えているのか。

**小坂農林水産担当参事官**

農作物被害や集落への出没などによる不安も広がっている状況もあり、住民参画による地域ぐるみでの対策が重要となっており、城原地区の取り組みは大変すばらしい。この取り組みを市全体に広めたいし、中山間地域等直接支払交付金の推進会



城原地区における鳥獣捕獲対策研修の様子

熊本地震の教訓について

**議員** 熊本地震では甚大な被害をもたらした。近隣の我々にも多大な恐怖を与えた。地震に限らず自然災害に対する日常からの備えが重要であること

を再認識したが、被害を最小限度とする対策は、

議などで情報発信するとともに、取り組み地域への支援を強化していく。

**高平総務企画部長** 備蓄

品は人口の5%が避難された想定で計画的に整備し、また、他市町等との災害時協定も締結している。災害発生時の対応や行動等について市民への周知を充実していく。

その他の質問

- ・ 通学路の安全対策について
- ・ 市道の危険箇所について

小学生の通学でキャリアバックはいけなの

答 ランドセルのほうが適している



宮地 明 議員

**永原教育部長** 小学生の登下校時の荷物が多く、小さな体でそういう荷物を運ぶのが大変なようだという状況を踏まえての御質問だと思います。

物を運ぶ際に重さを軽減できるキャリアバックは、大人にとっては大変便利でございますけれども、小学生にしましては、ランドセルのほうが機能的にすぐれていると考えております。主な理由は、両手が自由なほうが危険防止に有効であること。頭部を保護すること。クッションがわりになること。また、水路などに落ちた場合、浮くことなどがあります。

**議員** キャリーバックを使いますと、地面へ垂直方向に大きなベクトルの矢印がいくわけです。それに比べて横に引つ張る力というのは、転がり摩擦で結局少ない力で済むわけです。ベクトルを考えると、明らかに楽です。地面が反作用で押し上げてくれます。

**久保学校教育課長** 議員の御意見、非常に参考になりました。が、まず安心安全が先ですので、子

供の安心安全をまず最優先に考えさせていただければと思っております。

その他の質問

- ・ 貧困家庭の子供への対応
- ・ 熊本、大分地震について
- ・ 個人情報保護に関する法律について
- ・ 行政書士法の改正について



小学生の通学の様子

中心商店街の活性化整備事業の進捗状況について

答 (拠点整備事業の)協議会を設置し方向性を取りまとめている



木原 憲治 議員

今年最終年度として工事や備品購入に取組む予定である。

議員 旧古賀銀行及び門前広場の今の利活用

の考えは。

する要望書を再度提出しているところで、東部土木事務所との協議を密にし早期橋梁工事の実現に努めたい。

議員 旧古賀銀行は平成13年に国の登録有形文化財にまた佐賀県遺産にも指定され、中心商店街の拠点として、平成24年度より5ヶ年計画で進められ、今、最終の耐震補強、復元工事が進められているが進捗状況は。

永原教育部長 耐震補強工事は今年3月に完了し、復元工事は現在50%の進捗で今年度に完了予定である。

議員 門前広場の整備計画の進捗は。

高平総務企画部長 庁内に中心市街地拠点整備事業基本構想の策定に係る協議会を設置し、現在基本設計、実施設計が終わり

中島企画課長 旧古賀銀行では、地元のワークショップでの意見を踏まえて、取りまとめたかと考えている。門前広場に関しては、「かんだき櫛田の市」「長崎街道かんだき宿場まつり」などイベントの開催や市民の憩いの場として活性化に努めていきたい。

議員 土井の上橋(東信用組合横)の架け替え工事計画の状況は。

岸川産業建設部長 平成27年10月には橋梁の幅を上下流1・5mずつ拡張し、右岸北側を親水広場と



架け替え工事計画のある土井の上橋(東信用組合東側)



今年度本工事着手予定の門前広場整備事業

《議会の動き》(H28年4月~6月)

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 4月5日 議会広報編集特別委員会                      | 19日 小城市議会より行政視察                          |
| 6日~8日 韓国霊岩郡視察訪問                       | 20日 議会報告会運営会議                            |
| 14日 神崎市まちづくり特別委員会 全員協議会               | 24日 議会運営委員会                              |
| 16日 神崎市首都圏ふるさと会会員との交流会                | 27日~6月22日 平成28年5月第4回神崎市議会定例会             |
| 19日 議会広報編集特別委員会                       | 27日 議会改革検討特別委員会 第1・第2分科会                 |
| 20日 全員協議会                             | 30日 九州市議会議長会第2回理事会(東京都) 臨時佐賀県市議会議長会(東京都) |
| 21日 各派代表者会議 第216回佐賀県市議会議長会            | 31日 第92回全国市議会議長会定期総会(東京都)                |
| 25日 議会広報編集特別委員会                       | 6月2日 議会広報編集特別委員会                         |
| 26日 平成28年4月第2回神崎市議会臨時会                | 6日 市町村広域災害ネットワーク議会代表者会議(東京都)             |
| 28日 議会広報編集特別委員会                       | 8日 議会改革検討特別委員会 第2分科会                     |
| 5月2日 平成28年5月第3回神崎市議会臨時会 神崎市まちづくり特別委員会 | 10日 議会改革検討特別委員会 小委員会                     |
| 11日~12日 平成28年度防衛省全国情報施設協議会役員会(石川県)    | 14日 平成28年度予算特別委員会                        |
| 16日 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会               | 16日 議会改革検討特別委員会                          |
|                                       | 17日 神崎市まちづくり特別委員会                        |



## 全国市議会議長会表彰

去る5月31日、東京都で開催されました「第92回全国市議会議長会定期総会」において、市政発展に寄与された功労者として、「議員在職25年」で原信義議員、「議員在職10年」で山口義文議員、廣瀧恒明議員、山田一明議員、田原和幸議員、原口ひさよ議員、白石昌利議員が表彰されました。

### 議員在職25年



原 信義 議員

※原議員については町議在職期間を加算



### 議員在職10年



山口 義文 議員



廣瀧 恒明 議員



山田 一明 議員



田原 和幸 議員



原口ひさよ 議員



白石 昌利 議員

# 議会報告会のご案内

市議会では「開かれた議会」を目指して、昨年に引き続き議会報告会を開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

| 日        | 時           | 会 場                  |
|----------|-------------|----------------------|
| 8月20日(土) | 19:00~20:30 | 神崎市中央公民館<br>1階 第1研修室 |
| 8月26日(金) | 19:00~20:30 | 脊振公民館 2階<br>大会議室     |
| 8月27日(土) | 19:00~20:30 | 千代田支所 2階<br>2-2会議室   |

## 〈内容〉

### (1) 報告

「2月定例会等について」

### (2) 議員と語ろう

「聞かせて市民の声」



## 編集後記

今回の「議会だより」は新メンバーで作成いたしました。各委員の視点で、市民に「見やすく、読みやすく、分かりやすく」をテーマに議会だよりの作成に取り組んでいきます。

5月定例会については、行政から提出された議案の審議や、神崎市の発展につなぐ議員の思いを込めた一般質問を掲載しています。

なお、8月には3回目となる議会報告会が、脊振、神崎、千代田で開催されます。神崎市民の代表者として、神崎市を思う議員の考えや気持ちについて議会で訴えたことを皆様に報告する年一回の機会です。

多くの方の参加をお待ちしております。  
(記 野副 芳昭)

### 広報委員会

|      |       |    |       |
|------|-------|----|-------|
| 委員長  | 原 信義  | 委員 | 田原 和幸 |
| 副委員長 | 白石 昌利 | 委員 | 永沼 彰  |
| 委員   | 野副 芳昭 | 委員 | 原口ひさよ |